

歴代会長

初代	田中 四郎	昭和30年4月	～	昭和61年3月
二代	伊藤 徳治	昭和61年4月	～	平成 7年3月
三代	松本 貞夫	平成 7年4月	～	平成 9年3月
四代	金子 忠男	平成 9年4月	～	平成19年3月
五代	矢崎 文彦	平成19年4月	～	平成25年3月
六代	伊藤 英男	平成25年4月	～	現在

町の由来

昭和 7 年当時「東京府豊多摩群野方町大字上沼袋」と呼ばれていた地域を中野区沼袋南1・2・3 丁目と命名するが、町の有志が中心となり反対運動を起し 2 年間に及んだ結果、昭和 9 年に中野区沼袋南 2 丁目と 3 丁目が「大和町」の名称に決まりました。

この「大和町」という町名は地域に古くから住んでいる人と新たに住み始めた人が「大きな和」を持って新しい町を創ろうとの気持ちから名付けたと言われていました。

大和町の範囲は、東は大新横丁、西は蓮華寺の西筋、南は大場通り(早稲田通り)で一部南側にも張り出し、北は大場川(妙正寺川)の北の道に囲まれた地域で誕生しました。

歴史

戦後 10 年後の昭和 30 年に消防署通りから西側(現在の大和町 3・4丁目と若宮 2 丁目の一部)の地域を町会の名称ではなく「大和町西部自治会」の名称で発足しました。そんな大和町 3 丁目に当たる地域には、世界的に有名な版画家である棟方志功が昭和 4 年から昭和 18 年まで居住しており多くの作品を作り上げていました。

そのような大和町西部自治会では初代会長以来この西部自治会内の安全・安心で住みよい町づくりを目標に代々の会長に引き継がれて来ています。

組織

大和町西部自治会では住民の安全・安心そして親睦を図るために、総務部を始め社会福祉部、文化環境部、青少年部、防犯・防火・交通部、特別防災部の 6 部門でそれぞれ活動をし、町の活性化を目指して活動を続けています。

活動

住民が安心して住めるよう西部自治会では防犯・防火そして防災に対して力を入れての活動を進めています。まず防犯では、平成 25 年より 3 年間で町内 11 ヶ所に防犯カメラを設置、現在は 16 カ所に増やし犯罪に対しての抑止力に努めています。防災では特別防災部員の中より防災士が 3 名となり、今後の防災において非常に力強い味方となっています。3 年前より「黄色い旗運動」訓練を実施しています。災害時に私は無事ですと伝えるため外から見える場所に黄色い旗を掲示してもらい共助をスムーズに行えるようにするものです。

最後に、自治会内相互における親睦を図り、住みやすいまちづくりに力を入れて今後も行っていきます。

